

きたにし通信

1 平成 30 年 4 月 5 日

校長 吉川 文章

今年度も、学校経営方針に関連した具体的な取り組みや私の教育理念を毎週発行していきます。外部スタッフも含め、本校に務められる全ての職員の皆様に配布をしています。昨年度よりもホームページへの掲載も頻度を上げていきます。

職員会議でお伝えする内容も出来るだけ網羅し会議の短縮に努めます。

黄金の3日間が一年間の学級経営の土台となる

新年度始まりの3日間は、「黄金の3日間」と呼ばれています。学級開きに当たり、学級担任がどういう方針を伝えるか。どのような学級目標を子供たちと考えるのか。考えさせるのか。学習と生活の約束事の決定など、この3日間の学級づくりで1年間の円滑な運営が決まるといっても過言ではありません。ぜひ、学級経営についての熱いメッセージ（所信表明）をお願いします。

私は、学級担任の時、教育相談の専門家から同僚の立場で以下のアドバイスを受け、学級担任時代は、必ず初めに子供たちにこんな宣言をしていました。

先生は、みなさんをしかることはほとんどありません。これから話す2つのことを除いては。

1つ目は、「自分や相手のからだを傷つけるような危ないことをした時」

2つ目は、「相手の心を傷つけるような言葉や行動をした時または、そんな雰囲気を感じた時」

このどちらがあったら、厳しく叱ります。なぜか、みなさんの命が大事だから。それと同じ位にみなさんの心が大事だから。また、そうしてしまった子の心も助きたいから。

そして、自分なりの基準をもち、一貫して年間実践すると自然とその価値観が子供に伝わり、規範意識が育っていったり、学級がしっとりとした雰囲気になったりしていきました。

経営方針に関連してお伝えしている「好きな先生」「嫌われる先生」に通ずる取り組みです。

同様の実践をされている先生方も多いと思われませんが、アレンジしてご活用ください。

ことばの教室の先生方は、発達段階に応じた、より個別の指導をされることと思います。

明日は、新6年生が新年度準備で来校します。

最高学年としての意識を高めるための「黄金の一日」となるべく、自己肯定感が高まる「最高のほめ言葉のシャワー」を浴びせてください。